

セッション名	演題番号	姓	名	演題名	配信可否
大会長講演		鈴木	正彦	認知症を取り巻く現状を正しく理解する	○
理事長講演		浦上	克哉	新たなステージを迎えた認知症医療における日本認知症予防学会の果たすべき役割	○
厚労省講演		浅沼	一成	日本認知症予防学会への期待	○
特別講演1		繁田	雅弘	認知症の人の場合のアドバンス・ケア・プランニング (ACP) について考えてみた	○
特別講演2		三條	伸夫	アルツハイマー病の疾患修飾療法の展望	○
特別講演3		角田	亘	リハビリテーション医療で認知症を防ぐ	○
教育講演1		田中	寛之	進行期認知症に対するリハビリテーション・ケア	○
教育講演2		中石	真一路	『耳からはじめる認知症予防への取り組み』難聴の早期発見とヒアリングフレイル予防	○
教育講演3		高澤	留美子	認知症の人と家族の生き方支援～本人・家族と専門職の視点から～	○
教育講演4		櫻井	博文	フレイルとは	○
教育講演5		小野沢	滋	在宅医療と認知症 認知症を取り巻く今後の在宅療養の環境変化を考える	○
教育講演6		和田	健二	認知機能の評価法	○
教育講演7		丸山	道生	認知症と胃ろう栄養—その適応を考える—	○
シンポジウム1	S1-1	大塚	礼	フレイルと栄養、認知機能低下と栄養との関連：地域住民コホートでの知見に基づく高齢期に目指したい食事	○
シンポジウム1	S1-2	山田	実	運動とフレイル・認知機能	○
シンポジウム1	S1-3	櫻井	孝	エビデンスに基づく認知症予防の社会実装	○
シンポジウム1	S1-4	浦上	克哉	認知症予防の取り組み～とっとり方式認知症予防プログラムの開発と普及～	○
シンポジウム2	S2-1	長田	乾	認知症基本法：一次予防の観点から	○
シンポジウム2	S2-2	中根	一	認知症基本法～2次予防の観点から	○
シンポジウム2	S2-3	繁田	雅弘	共生社会の実現を推進するための認知症基本法；三次予防の観点から	○
シンポジウム2	S2-4	上原	孝介	認知症基本法～「認知症の人と家族の一体的支援プログラム」現場の視点からSHIGETAハウスプロジェクトが伝えたいこと	○
シンポジウム2	S2-5	内門	大丈	共生社会の実現を推進するための認知症基本法について	○
シンポジウム3	S3-1	井原	涼子	アルツハイマー病の疾患修飾薬の効果と今後の展望	○
シンポジウム3	S3-2	岩崎	靖	アルツハイマー病病理に対する疾患修飾薬の影響と問題点	○
シンポジウム3	S3-3	徳田	隆彦	疾患修飾療法と体液バイオマーカー	○
シンポジウム3	S3-4	島田	斉	疾患修飾療法における画像バイオマーカー活用の現状と展望	○
シンポジウム4	S4-1	山田	武志	認知症基本法を読み解き令和6年度調剤報酬改定から薬局のあるべき姿を考える	○
シンポジウム4	S4-2	宮野	廣美	進化する多職種連携における実際の取組	×
シンポジウム4	S4-3	宇野	雅樹	地域住民、医療・介護等他職種で作り上げるコミュニティの実際	○
シンポジウム5	S5-1	杉江	和馬	MCIと認知症の診断のポイント	○
シンポジウム5	S5-2	薬師寺	祐介	脳小血管病とMCI	○
シンポジウム5	S5-3	内田	一彰	J-MINTの知見から考えられるMCIマネジメント	○
シンポジウム5	S5-4	森原	隆太	プレクリニカル期とMCIに対する治療研究	○
シンポジウム6	S6-1	大沢	愛子	リハビリテーション科医としてのアプローチと取り組み	×
シンポジウム6	S6-2	山上	徹也	理学療法士からのアプローチと実践	○
シンポジウム6	S6-3	谷川	良博	日常生活機能を維持するための支援 作業療法士の視点と支援の展開	○
シンポジウム6	S6-4	外山	稔	コミュニケーションの問題に対するアプローチと実践	○
シンポジウム7	S7-1	海渡	信義	脳局在診断からみた認知症 ～脳神経外科が認知症の臨床現場でできること～	○
シンポジウム7	S7-2	千葉	真知子	認知症予防としての五感磨き、特に美味しいお食事の勧め	×
シンポジウム7	S7-3	牧迫	飛雄馬	フレイルおよび認知機能低下の予防と運動	○
シンポジウム8	S8-1	諏訪	幹夫	森林空間の活用に関する地域と企業等の取組	○
シンポジウム8	S8-2	大津	唯	緑地と認知機能の関連性に関するシステマティック・レビュー	○
シンポジウム8	S8-3	郡司	聖	森林環境下での認知症予防プログラムの提案	○
シンポジウム8	S8-4	有馬	遥太郎	日本国内における森林率と認知機能についての調査結果の中間報告	○
シンポジウム9	S9-1	岩城	直幸	運転免許保有者を対象にした行動観察に基づく実車評価と実車指導	○
シンポジウム9	S9-2	瀬川	誠	装着型センサを用いた運転挙動計測及び解析結果に基づく再教育の実践	○
シンポジウム9	S9-3	浅田	克子	地域高齢ドライバー講習の運転評価からの検討～安全運転寿命延伸への取組～	○
シンポジウム9	S9-4	坂本	真一郎	高齢者ドライバーの安全性向上と運転評価：高齢者講習の調査から見た課題	○
シンポジウム10	S10-1	繁田	雅弘	認知症の支援の際に私たちが抱きやすい先入観	○
シンポジウム10	S10-2	鈴木	みずえ	認知症の人に向き合う意義	○
シンポジウム10	S10-3	上原	孝介	認知症のひとにいかに向き合うか？食べたい気持ちを考える～歯科と多職種連携～	○
シンポジウム10	S10-4	升山	弘子	生活の中の様々なことから本人と一緒に考える	○
シンポジウム10	S10-5	亀割	貴志	外国人介護者の役割の大切さとその支援	○
シンポジウム11	S11-1	石毛	和也	ウリジル酸Naの認知機能に及ぼす効果	○
シンポジウム11	S11-2	米田	哲也	早期認知機能変化を予測可能なMRI技術の研究開発	○
シンポジウム11	S11-3	櫻井	孝	認知症予防を目指した多因子介入研究 (J-MINT) から得られたエビデンス	○
シンポジウム11	S11-4	沖	侑太郎	J-MINT PRIME Tamba研究の結果と社会実装の実現に向けた取り組み	○

第13回日本認知症予防学会学術集会 オンデマンド配信一覧 (24.10.17時点)

セッション名	演題番号	姓	名	演題名	配信可否
シンポジウム12	S12-1	安部	明夫	認知症予防におけるオレンジナースの役割	○
シンポジウム12	S12-2	菅谷	由紀子	「オレンジナースの集い」への思い	○
シンポジウム12	S12-3	高澤	留美子	「本人と家族の生き方支援」オレンジナースの役割と視点とは	○
シンポジウム13	S13-1	高村	好実	認知症予防専門臨床検査技師で活かす地域や自治体での事業活動	×
シンポジウム13	S13-2	是枝	真由美	認知症予防に携わる臨床検査技師としての今までとこれから	×
シンポジウム13	S13-3	江成	典子	じゅりんぎ大学校認知症講座と大学院の学びから気づいた臨床検査技師の有用性	×
シンポジウム14	S14-1	本多	慶吉	生き活き脳活倶楽部（認知症予防教室）の地域での取り組み	○
シンポジウム14	S14-2	瀬藤	尚文	地域における認知症予防事業の活動と高齢者施設の在り方について	○
シンポジウム14	S14-3	村瀬	真弓	渋谷区における認知症地域支援推進員の活動紹介	○
シンポジウム14	S14-4	稲葉	敏	葛飾区における「もの忘れ予防健診」並びに「もの忘れ予防」普及啓発活動について	○
シンポジウム15	S15-1	伊関	千書	特発性正常圧水頭症(ハキム病)の疫学と診断のポイント	○
シンポジウム15	S15-2	鮫島	直之	特発性正常圧水頭症の治療のポイント - LPシャント術の実際 -	○
シンポジウム15	S15-3	厚地	正道	特発性正常圧水頭症のリハビリテーション・介護について	○
シンポジウム15	S15-4	數井	裕光	特発性正常圧水頭症の啓発と診療連携	○
スポンサーシンポジウム		森原	隆太	プラズマローゲンの認知症予防効果	○
スポンサーシンポジウム		犬房	春彦	Twendee Xの最新の認知症予防効果	○
スポンサーシンポジウム		足立	弘明	ナトリドの認知機能予防効果	○
スポンサーシンポジウム		木村	成志	高齢者の認知症予防における睡眠の重要性	○
スポンサーシンポジウム		太田	康之	歩行と認知症予防	○
スポンサーセミナー		守山	正樹	生成AIと共に考える認知症予防	○
産業医研修会		山徳	雅人	今日からできる治療と仕事の両立支援	○
産業医研修会		佐々木	信幸	脳由来の後遺症を呈す患者の復職に向けて	○
ダンスプログラム		利根川	久女紅	ダンス療法「ハートフル・コグニダンス」	×

セッション名	演題番号	姓	名	演題名	配信可否
口演1	O1-1	古和	久朋	一般高齢者の認知機能評価ツールとしてのSAMSの有用性	○
口演1	O1-2	中村	美砂	正常認知機能から軽度認知障害における血中トランスサイレチンレベルの推移について	○
口演1	O1-3	高橋	壮	認知機能セルフチェッカーを用いたMCIの早期発見	×
口演1	O1-4	山城	大地	軽度認知障害 (MCI) の疑いがある高齢者の主観的時間評価-時間作成課題と言語評価課題を用いた検討-	○
口演1	O1-5	高橋	佳史	記憶の変化に対する知識は、活動能力を媒介して精神的健康に影響する	×
口演1	O1-6	渡邊	捷太	AD根治のための薬物送達キャリア「コレステロール末端修飾PEG」のAβ凝集阻害による予防薬としての機能評価	○
口演1	O1-7	Supakul	Sopak	iPS細胞由来神経細胞とアストロサイトの共培養系を用いた、アルツハイマー病の表現型解析	×
口演1	O1-8	中井	剛	アルツハイマー病モデルマウスにおけるAβ蓄積による骨格筋への影響	×
口演1	O1-9	櫻井	俊海	アルツハイマー型認知症進行におけるサルコペニアの影響と構造的・機能的MRI変化	○
口演1	O1-10	久徳	弓子	MCIおよび軽度認知症患者の臨床的特徴からアミロイドの存在を予測する	○
口演2	O2-1	日吉	眞理子	地域高齢者の健康意識に沿った認知症予防プログラムの構築	○
口演2	O2-2	菅原	利之	認知症予防に繋がるスモールジムの運動方法	○
口演2	O2-3	野々下	有希	自宅に閉じこもりの方が訪問リハビリ介入により活動範囲の拡大に繋がった1例	○
口演2	O2-4	深沢	敬亮	もの忘れ外来において運動習慣の有無が安静時脳活動に与える影響	○
口演2	O2-5	雫	裕子	通所リハビリテーションでの集団体操における多職種連携～運動と認知課題と音楽を合わせた活動の効果～	○
口演2	O2-6	宮崎	敦子	デイサービスにおけるレクリエーションとしての泉大津市オリジナル認知症予防ダンスの効果	○
口演2	O2-7	辻	正純	メモリーピフズス菌を用いたMCIに対する運動療法 (コグトレ)	○
口演2	O2-8	林	博史	軽度認知障害をもつ地域在住高齢者に対するeスポーツの効果	×
口演2	O2-9	利根川	久女紅	「ハートフルコグニダンス」で「認知症予防」を急ぐ	○
口演3	O3-1	加藤	光葉	高齢者ドライバーに対する運転寿命延伸のための運動介入効果に関する検討	○
口演3	O3-2	岩越	和紀	ヘダルの踏み間違い事故と認知機能低下の研究の推進を	○
口演3	O3-3	浅田	克子	認知機能の「見える化」で職業ドライバーの運転寿命延伸を目指した取組	○
口演3	O3-4	井手	芳彦	「認知症の人の自動車運転免許返納ガイドライン」日本認知症予防学会におけるガイドライン策定の要望	○
口演3	O3-5	鈴木	美緒	同乗者の有無による運転中の安全確認行動への影響	○
口演3	O3-6	中村	拓司	茨城県の高速度道路出入口付近における高齢運転者の逆走や誤進入、注意喚起等の安全性に関する課題の抽出及び対策案の検討	○
口演3	O3-7	平塚	喜之	運転挙動と運動習慣および身体機能の関連性	○
口演3	O3-8	並木	靖幸	運転挙動とサポカー搭載機能の利用意向の関連性	○
口演3	O3-9	土肥	敏博	閉塞性睡眠時無呼吸症候群におけるいびきと口臭の関係	○
口演3	O3-10	野田	明子	高齢者の睡眠呼吸障害に対する体位療法が認知機能に及ぼす効果	×
口演4	O4-1	糸藤	友子	ニューロフィードバック脳トレの認知機能向上効果の検討	○
口演4	O4-2	藤澤	多喜子	認知症進行予防デイケア参加者の認知機能及び身体機能の変化	○
口演4	O4-3	佐々木	啓	スライドパズルによる脳血流量の変化および認知症予防の可能性	○
口演4	O4-4	山口	愛恵	これからの介護予防について考える～<東山町一組 いきいき元気脳活教室>活動報告～	○
口演4	O4-5	北島	春菜	地域における意味付けされた脳活教室の実施に向けて-他の地域活動への波及効果-	○
口演4	O4-6	小玉	鮎人	地域在住高齢者に対する演劇的手法を用いた介入効果に関する研究	○
口演4	O4-7	堀田	牧代	患者・家族向けの認知症予防プログラムを実践しての実態調査～参加者のアンケート調査より～	○
口演4	O4-8	本多	慶吉	生き生き脳活倶楽部での脳活プログラムの効果	○
口演4	O4-9	坂本	千尋	通所リハビリテーションにおける軽度認知障害に対する認知症予防の取り組み	○
口演4	O4-10	平田	尚士	軽度認知障害におけるコンテストの有用性	○
口演4	O4-11	梅津	葉子	秋田県横手市でのシニアミュージカルによる認知症予防についての取り組み	○
口演5	O5-1	山川	直樹	認知症予防フレンド養成講座の受講生の特徴と認知症予防専門士の役割	○
口演5	O5-2	高橋	鉄平	地域密着型中核病院の認知症看護認定看護師が認知症ケアチームの発足から専従になるまでの取り組みと成果	○
口演5	O5-3	加賀野井	博美	認知症サポーター養成に関わる現状と課題への取り組み	○
口演5	O5-4	有働	麗	看護職員の認知症患者への対応能力向上に向けて ~継続教育の考察~	○
口演5	O5-5	中道	淳子	地域の認知症予防ボランティアと大学生による小学生への認知症学習の在り方と効果	×
口演5	O5-6	安藤	隆文	「介護予防・日常生活圏ニーズ調査」からみる認知症への取り組みについて	○
口演5	O5-7	麥生田	才子	園芸作業交流会による認知症啓発と共生の場づくりの試み ~私の「苦手」をあなたの「得意」で補って~	○
口演5	O5-8	小野	未架	認知症の方への声かけ模擬訓練の結果をもとにした、全世代の方への普及啓発の実践と工夫	○
口演5	O5-9	岡藤	農	地域住民に対して認知症カフェ参加における認知症理解の変化について	○
口演5	O5-10	松野	敦子	認知症予防プログラムの実践報告 —手話歌をプログラムに取り入れた効果—	○
口演6	O6-1	高橋	浩一	髄液減少症に伴う認知障害	○
口演6	O6-2	厚地	正道	腰椎腹腔短絡術の術後経過で髄液過剰排出に伴い自律神経失調症を呈したと考えられる一例	○
口演6	O6-3	平井	利明	筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群の静脈血液ガス所見の特徴	×
口演6	O6-4	上原	朋子	ウェルニッケ・コルサコフ症候群となった独居の患者が自宅退院可能となった一例	○
口演6	O6-5	安田	万里子	早発性アルツハイマー型認知症における認知機能の特徴	×
口演6	O6-6	網本	圭志	アルツハイマー型認知症の一次予防に対する意識調査 ~ 一般市民を対象とした質問紙調査結果の一考察 ~	○
口演6	O6-7	縣	樹生	新型コロナウイルス感染症罹患後に新規に認知機能障害を発症した患者の3年の経過について	○
口演6	O6-8	長山	あゆみ	コロナ禍における活動制限が高齢者の認知機能に与える影響について	○
口演6	O6-9	寺田	侑真	COVID-19 pandemicが基本チェックリストの認知機能項目に及ぼす影響	○

セッション名	演題番号	姓	名	演題名	配信可否
口演7	07-1	金島	由佳	認知症ケアチーム活動を活用した退院支援の質の向上にむけた取り組み	×
口演7	07-2	五十嵐	真由美	回復期リハビリテーション病院における多職種連携による薬剤管理	○
口演7	07-3	阿部	慈美	急性期病院における認知症高齢者のHAD予防に必要な多職種協働ー 認知症ケアチームへのインタビュー調査からー	○
口演7	07-4	杉山	美香	郵送調査による自記式認知症チェックリストを用いた認知症の早期発見の取り組み～訪問看護師による訪問調査の活用と多職種連携～	○
口演7	07-5	吉武	亜紀	認知症を心配する60代男性に対する多職種連携支援～認知機能の改善に寄与した行動変容に関する検討～	×
口演7	07-6	高橋	友美	医療・介護連携に基づくisCGMの地域システム構築	○
口演7	07-7	横谷	弘子	介護サービス利用の定着に困難さがみられた90代男性への医療・介護の連携支援～在宅生活の継続を可能にした経験の共有～	○
口演7	07-8	中山	愛子	身体拘束に関する認識調査～多職種連携による身体拘束軽減の検討～	○
口演7	07-9	上野	真生	多職種共同でせん妄予防～本人のできる能力を共有～	○
口演8	08-1	竹本	与志人	認知症のある人の家族介護者を対象とした医療・介護サービスの利用による経済逼迫感と医療・介護サービスの利用控えの関係	×
口演8	08-2	森	純一	コロナ禍により閉じこもり状態となった高齢者に対する訪問リハビリテーション	○
口演8	08-3	塩田	智	認知機能低下を有する高齢者の在宅介護における介護負担感とその要因	○
口演8	08-4	平野	叶笑	親族との関係が希薄な認知症患者に対する意思決定支援のあり方	×
口演8	08-5	澤味	友恵	急性期病院に入院中の認知症高齢者におけるドールセラピーの効果	×
口演8	08-6	高橋	鉄平	超低床ベッド使用のメリット～身体拘束最小化に与える影響～	○
口演8	08-7	安信	陽菜	非薬物療法によるBPSDへのアプローチー不安への対応でBPSDが落ち着いた一事例ー	○
口演8	08-8	頭山	祥子	アロマテラピーによる介護施設の認知症入居者の睡眠とBPSD、介護者の負担軽減への効果	○
口演8	08-9	土田	仁美	地域の通いの場の効果～認知症が疑われるが、専門医・介護保険サービスに繋がらない事例から考える～	×
口演9	09-1	鶴木	恵子	思い出の写真とICTを活用した回想法プログラムは認知機能を改善させるか？	○
口演9	09-2	岸上	幸司	スタンディングリフトによる排泄が利用者にも与える好影響について	○
口演9	09-3	西村	彰規	関節可動域練習中に血管迷走神経反射性失神を生じた認知機能低下症例ーパルスオキシメーターを用いたリスクマネジメントー	○
口演9	09-4	岡安	一樹	コミュニケーション不良とされた患者に対する正確な病態把握と統一したケアとリハビリテーションの効果	×
口演9	09-5	安藤	研介	握力測定における神経系の鑑別スクリーニングの重要性	×
口演9	09-6	宮崎	敦子	認知症高齢者におけるドラム演奏前後の気分変化	○
口演9	09-7	峰村	直樹	「みんなの聴脳力®チェック」アプリを活用した語音弁別能の考察ー加齢性難聴者への対策ー	○
口演9	09-8	景山	貴央	認知機能低下における食事形態の検討	○
口演10	010-1	川崎	裕樹	言語流暢性課題と運動課題遂行時の脳賦活部位	×
口演10	010-2	中島	円	認知症スティグマが生じにくい早期認知症診断ー 質感オノマトペ検査 (Sound Symbolic Words Texture Recognition, SSWTR) の	○
口演10	010-3	村上	智美	臨床検査室における神経心理検査	○
口演10	010-4	嶋原	良仁	左縁上回の脳活動と認知機能	○
口演10	010-5	齋藤	剛史	植物由来トリゴニンにおける in vitro 細胞評価および認知症予防機能の探索	○
口演10	010-6	潘	子恒	“Digital Trail Making Peg test”と認知機能との関連ー多領域の認知機能に着目してー	○
口演11	011-1	幡中	典子	実臨床におけるドネペジル経皮吸収型貼付剤による皮膚症状を主とした忍容性の検討	×
口演11	011-2	日和田	正俊	レケナビ治療非該当患者・家族への課題と展望	○
口演11	011-3	斎藤	剛志	認知症予防専門薬剤師としてのレカナマブ適正使用への介入	○
口演11	011-4	森木	章人	小規模病院におけるレカナマブ治療体制の構築	○
口演11	011-5	岡林	美由紀	レカナマブ治療体制におけるリハビリテーション部門の取り組み	×
口演11	011-6	沼田	まな	認知症患者に対するぬいぐるみ型デバイスを用いた効果的な回想法の実施	○
口演12	012-1	内田	泰史	認知症予防と生活習慣病	○
口演12	012-2	村山	洋史	地域在住高齢者における軽度認知障害と健康関心度の関連：和光コホート研究	○
口演12	012-3	浅原	有揮	健常中高齢者における教育年数が脳糖代謝へ与える影響	○
口演12	012-4	木村	成志	臼杵コホート研究『生体センサーによる生活習慣と認知機能の縦断解析』	○
口演12	012-5	安高	拓弥	脳排出系と生活習慣因子の関連～USUKI studyにおける脳血管周囲腔とリストバンドデータの検討～	○
口演12	012-6	武嶋	佑果	高齢者施設での認知症予防活動の取り組み	○
口演12	012-7	内田	浩江	在宅高齢者の認知症予防行動促進に期待される集会的効力感の価値	×
口演13	013-1	片山	雅史	神経心理学的検査に所要時間を加味した評価	×
口演13	013-2	峰村	直樹	もの忘れ相談プログラム実施に対する課題と提言ー合理的配慮の提供義務化からー	○
口演13	013-3	矢野	史朗	健診における認知症予防の取り組みについて	○
口演13	013-4	藤野	孝雄	かかりつけ医外来での認知機能スクリーニング	○
口演13	013-5	高木	清	脳ドックが認知症の早期発見に果たす役割	○
口演13	013-6	黒岩	祐樹	指タッピングによるフレイル検出の試み	○
口演14	014-1	伊藤	米美	「定年後の高齢男性のやりがい・社会参加をどう進めるか」を取り組んで	○
口演14	014-2	進藤	由美	市町村の人口規模が認知症予防の取組や協力機関の多様性に及ぼす影響	○
口演14	014-3	小松	亜弥音	認知症高齢者の外出行動の実態 (NCGGーUniCo) (第1報)：外出場所の特徴	×
口演14	014-4	松山	賢一	当院認知症疾患医療センターの地域における役割について	○
口演14	014-5	真田	康孝	認知症初期集中支援チームの介入で短時間就労に挑戦した一事例ー通所介護事業所との連携を通してー	○
口演14	014-6	飯田	聖子	高齢者サロンを分析する～また来たくなる活気あるサロンとは～	○



セッション名	演題番号	姓	名	演題名	配信可否
ポスター1	P1-1	笠原	浩生	当科通院中のMCIにおける脳血管障害の危険因子の影響についての検討	○
ポスター1	P1-2	六倉	悠貴	地域在住高齢者における軽度認知障害のスクリーニングに関する検討	○
ポスター1	P1-3	高橋	怜真	軽度認知障害の血管性危険因子や身体的フレイルとCDR Sum of Boxesとの関連	○
ポスター1	P1-4	木村	亜紀子	MCI(軽度認知障害)と診断された人の受診に至るまでのプロセスの可視化	○
ポスター1	P1-5	杉山	京	若年性認知症の診断を転機に本人・家族に生じた経済問題の一例	×
ポスター1	P1-6	新山	真奈美	若年性認知症者の就労に関わる相談対応者に関する実態と展望	×
ポスター2	P2-1	佐藤	美佐江	幻視・妄想で保護室を使用していたレビー小体型認知症患者への睡眠環境調整の効果	○
ポスター2	P2-2	遠藤	雄司	表層性失読の症状を呈したビタミンB12欠乏症の1例	○
ポスター2	P2-3	武久	康	早期神経梅毒の治療指標の検討	×
ポスター2	P2-4	谷口	圭佑	地域在住身体障がい者の基本チェックリストを用いたフレイルと認知機能の実態調査	×
ポスター2	P2-5	坂本	晴美	地域に在住している身体障がい者の基本チェックリストを用いた認知機能・精神機能に影響する要因の検討	○
ポスター2	P2-6	梶原	優太郎	Chol-CM-PVImを用いたLLPS制御によるTau凝集抑制効果の検証	○
ポスター3	P3-1	原田	俊子	わが国におけるコミュニティ音楽療法の研究動向と課題	×
ポスター3	P3-2	稲橋	秀樹	食への興味関心の拡大から生活変化を促す認知症予防教室～日常生活の中での継続につながる認知症予防への取り組み～	○
ポスター3	P3-3	永田	映子	会話支援手法共想法のテーマ設定の特徴とその効果について：自由会話とテーマに沿った会話の相違点に関する考察	○
ポスター3	P3-4	根岸	勝壽	高齢者の総合的な認知症予防を目的とする「街歩き共想法」の実践的検討	○
ポスター3	P3-5	長久	秀子	高齢者の認知機能低下を防ぐために当事者の声を反映して開発した認知症予防会話手法共想法の遠隔アプリ	○
ポスター3	P3-6	大武	美保子	認知症予防の当事者研究拠点ほのぼの研究所における共想法の実践研究	×
ポスター4	P4-1	阿部	朋子	当院の補聴器診療における認知機能評価検査介入の有用性の検討	○
ポスター4	P4-2	樋口	雄哉	神経心理学的検査が難航した一例	○
ポスター4	P4-3	山下	真里	健常高齢者における2年間のMMSE-J得点変化と下位検査の関連：IRIDE Cohort Study	○
ポスター4	P4-4	藤本	憲正	認知症における比喩理解と認知機能の関係 - ADとDLBとの比較 -	○
ポスター4	P4-5	林	泰弘	スヌーズレンにおける脳波変化	○
ポスター4	P4-6	佐藤	守一	嗅覚、認知機能検査データと脳灰白質容積の関連性検討	○
ポスター5	P5-1	坂本	将徳	介護老人保健施設に入所中の認知症高齢者女性を対象としたマニキュア介入によるBPSD症状およびQOL、介護負担度の変化	○
ポスター5	P5-2	小林	泰喜	通所リハにおける有酸素運動と知的活動プログラムの継続効果について - コロナ禍での重度化防止と生活空間との関連性について -	×
ポスター5	P5-3	出口	美穂	認知症ケアチームとの多職種カンファレンスにより身体拘束軽減に繋がった一例	×
ポスター5	P5-4	守山	正樹	病院スタッフ発のアートプログラム；スタッフの持つ認知症ケアと病院のイメージをAIで画像化し、共に考える試み	○
ポスター5	P5-5	田島	美幸	認知症の家族介護者の介護ストレスケアを目的としたオンライン認知行動療法プログラム	○
ポスター5	P5-6	木宮	高代	認知症の人とその家族への看護について～調理実習からの学び～	×
ポスター6	P6-1	川北	澄枝	認知症疾患医療センターにおける診断後等支援の取り組み～脳活塾の支援のかたち～	○
ポスター6	P6-2	中山	寛人	当院の認知症カフェ関連の活動	×
ポスター6	P6-3	中村	和幸	県民フォーラムに参加して（認定認知症領域検査技師として）	○
ポスター6	P6-4	藤原	聡子	高齢者の認知症発症率の減少に社会参加は関連しているか-日本老年学的評価研究2013-2016、2016-2019コホート間比較研究	×
ポスター6	P6-5	涌谷	陽介	もの忘れ外来初診者におけるレカナマ投与基準適合者の検討	○
ポスター6	P6-6	高橋	真悟	指タッピングおよび簡易ニューロフィードバックによる高齢者の手指機能への影響	×
市民公開講座					×
ランチョンセミナー1		飯塚	友道	アミロイドPETから考えるこれからの認知症診療～展望と課題～	×
ランチョンセミナー2		児玉	直樹	認知症の予防と早期介入	×
ランチョンセミナー3		東	健太郎	運転寿命延伸プロジェクト in 宮崎	×
ランチョンセミナー4		平野	成樹	早期アルツハイマー病の新たな治療について - エリア診療連携も踏まえて -	×
ランチョンセミナー5		浦上	克哉	これからの認知症早期発見と予防は嗅覚機能に着目すべき！	○
ランチョンセミナー5		箱崎	幸也	認知症の早期診断における臭覚識別テスト有用性の検討	○
ランチョンセミナー6		笠貫	浩史	精神科医の視点で考える「認知症予防」と「高齢者うつ病」	×
ランチョンセミナー7		児玉	直樹	認知症予防フレンド養成講座と介護セミナーによる認知症予防の取り組みと今後の展開	○
ランチョンセミナー7		鬼頭	哲也	認知症に関するヘルスケアサービスの提供を通じて、人として輝き続ける地域社会の実現に貢献	○
ランチョンセミナー8		石崎	賢一	私がアリドネパッチを選ぶ理由	×
ランチョンセミナー9		石毛	和也	脳機能を支える栄養素、ウリジル酸Naの機能性	○